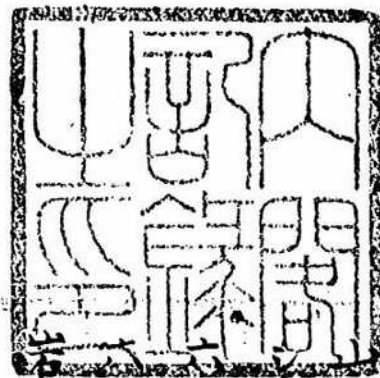


山口縣管内巡察記卷上



山口縣管内ハ舊藩毛利氏ノ全ク領セ  
 防長二國ノ地ニシテ戸數十九萬千  
 百九十六戸人口八十九萬七千三百  
 十九人長門ノ豊浦清末周防ノ徳山  
 若國ヲ末家毛利氏吉川氏ノ分領トシ  
 之ヲ末藩ト云舊幕中米國船武州浦賀  
 へ來船セシ時ヨリ勤  
 王攘夷ノ説盛レニシテ馬關ノ攘夷京  
 師ノ變動ヨリ延テ四境ニ圍ヲ受ケ辛  
 ノシテ終ニ  
 王政復古ノ隆運ニ際シ勤王ノ素志  
 ヲ違スト雖モ前後數度ノ外患内亂ニ

遭遇シ兩國人民共ニ古來稀ナル艱難  
ヲ經タルハ世ニ著シキ一氏ナリ廢藩  
置縣ノ片兩國全ク山口縣トナル  
山口縣内經過セシ處ニテ尤衰弊セシ  
ハ防州上ノ關室津室積長州萩トス其  
上ノ關室津室積ハ皆着船ノ津タルヲ  
以テ從前繁華ヲ占メタリシモ近年世  
上ノ西洋形船ノ開ケシヨリ大ニ日本形  
船ノ往來ヲ減シタルニ起因シ碇泊ノ  
船舶ナキニヨリテ衰弊セルナリ萩地  
ハ舊城下ニシテ繁華ノ地タリシモ維  
新前ヨリ舊藩主ハ山口ニ移リ高祿ノ  
士族モ隨テ居所ヲ轉シ且其地北海ニ

瀕シ道路嶮岨ヲ阻テ運輸便ナラス此  
地ノ衰弊ヲ防クヘキノ事業起ラズ  
ニ郡役所治安裁判所ヲ置クモ舊城下  
ノ况景ヲ維持スルニ足ラズ衰態日ニ  
甚シ岩國徳山豊浦ノ如キハ齊シク舊  
城下タリト雖モ元小藩ニシテ其結構  
小ナリシニ今ハ各郡役所ヲ置キ且南  
海ニ瀕シ運輸便アル故猶舊時ノ觀ヲ  
失フ以シ  
赤間關ハ西國ノ咽喉船舶ノ輻湊古來  
小浪華トモ稱スル地ニシテ市街其船  
舶ノ為ニ繁華ヲ致ス然ルニ近來問屋  
ノ奸計ノ為メニ船舶荷主ノ損害ヲ蒙

ル必カテス假令ハ問屋ニ荷物ヲ預ケテナ  
シ置クニ問屋ハ勝手ニ其荷物ヲ典シ  
或ハ問屋ノ内他國ヨリ來リ稼ク者多  
キ故荷主ノ荷物ヲ賣却シ其代金ヲ懷  
ニシ去ルモノモアル等ノトニテ船舶  
モ終ニ之ヲ厭ハ通過シテ碇泊セサル  
モノ多シト云此等ハ土地ノ盛衰ニ關  
スルトナレハ地方官ニテ申合規則ヲ  
立テサセ取締方アリタキトス  
本縣ニ於テモ追々道路ノ改修行ハレ  
明治九年ヨリ竣功スル者玖珂郡桂野  
村ヨリ同郡和水村迄ノ山陽道三里十  
八町美禰郡四郎原ヨリ厚狹郡埴生浦

ハ達スル四里十町豊浦郡豊浦ヨリ同  
郡前田村マテ山陽道壹里三丁餘阿武  
郡笹並村地内ニ於テ三田尻往還ノ道  
路一里五町餘吉敷郡上郷村ヨリ美禰  
郡大田村マテ四里餘縣稅協議費等ヲ  
以テ改修セリ尚本年度ニ於テ都濃郡  
花園以西赤馬関マテノ國道山口ヨリ  
佐波郡高井村マテノ國道萩ヨリ美禰  
郡大田マテ佐波郡右田ヨリ阿武郡德  
佐ヲ經石見國界マテ豊浦郡小月ヨリ  
西市ヲ經大津郡正明マテ厚狹郡船木  
驛ヨリ美禰郡真名村マテ徳山ヨリ須  
々万ヲ經鹿野マテ合算スレハ七十八

里十六町ヲ國庫金ト地方稅協議費ト  
ヲ以テ改修セントス其内款ヨリ美禰  
郡繪堂村ヲ經大田ニ達スル路線ハ已  
ニ着手款入り口ノ畔ヶ坂ハ隧道ヲ穿  
ツ己ニ十間餘ニ及ヘリ此路線ト右田  
ヨリ石見國界ニ達スル路線小月ヨリ  
正明市ニ達スル路線ハ最以テ有益ノ  
道路タルヘシ  
水理ハ明治七年來終ニ都濃郡櫛ヶ濱  
ノ船通シ厚狹郡船木有帆川ノ變換ア  
リ將來改修セント見込ムモノハ吉敷  
郡椹野川椹瀧郡三田尻港等ナリ三田  
尻港ハ淺キヲ憂ヘ之ヲ掘鑿シテ通船

ニ不便ナカラシメント其工事ヲ農商  
務省御用掛南一郎平ニ諮問セシ者ア  
リシニ佐波川ノ川尻ヲ變換シテ天神  
山下ヲ經テ港ニ達シ水勢ヲ以テ自然  
ニ鑿浚セシムルニアリト答ヘシト若  
シ其言ノ如クセハ水勢ニテ鑿浚シ去  
ルノ砂ヨリモ上流ヨリ流下シテ港ヲ  
埋ムルノ砂多カラシメント恐ル  
地租ノ改正ハ諸府縣ニ先チ行ハレタ  
リト雖モ其當ヲ得タルモノトハ為シ  
難シ然レモ其寬ニ失シタルヲ以テ或  
ハ積年著シキ艱難ヲ經タル疲羸ヲ凌  
クテ得タルカ一時米價ノ騰貴ニ際

シテハ農民ノ驕奢殊ニ甚シク土地ヲ  
有スル者ハ將來ノ作得代ヲ抵當トシ  
人ノ雇人トナリ渡世スル者モ向來給  
料ニ請クヘキヲ防長農家ノ雇人ハ給料  
アリ慣習米價ヲ抵當トシテ頼母子講ヲ  
始メ器ヲ求メ家宅ヲ營ミタル處昨年  
來米價俄ニ下落シ其講ノ返懸ヤヲ辨  
スル能ハス先取りノ者モ後取りノ者  
モ共ニ困難シタリト云フ  
山口縣ニ舊藩中士民共同ノ貯蓄金五  
十萬圓圍叔五萬石アリ置縣ノ後勸業  
局ヲ設テ此金叔ヲ資本トス其後之ヲ  
分ツテ金二十五萬圓ヲ以テ士族ノ共

有金トシ士族就産所ヲ創立シ金二十  
五萬圓ト叔五萬石トヲ以テ平民共有  
物トシ協同會社ヲ創立セリ  
就産所ノ資本金ハ追々利子ヲ増加シ  
三十萬五千圓餘ニ到ル此内ヲ以テ  
或ハ工場ノ資本ニ充或ハ士族工業ノ  
補助トナシ又年々ノ利子ヲ以テ就産  
所費ヲ支辨シ其餘ヲ三分シ其一分ヲ  
備荒儲蓄ニ充其貳分ヲ士族生産トシ  
テ戸數ヲ算シ毎年各郡區ハ分配シ其  
地方ニ於テ産業ヲ營ムヲ補助セシカ  
本年ヨリ右利子分配ヲ廢シ直ニ士族  
ノ産業ヲ起シ及ヒ貧困士族ヲ救助セ

ト即今其計畫、為メ頭取兼重惇輔  
士族總代二人同道東上本縣士族ニシ  
テ在東京ノ者ニ相談中ナリ  
協同會社ハ金二十五萬圓ト貯蓄五萬  
石ヲ以テ創立セシカ勅五萬石ハ明治  
十年各町村浦島ニ分割貯蓄セシメ資  
本金モ各町村浦島ヲ以テ株主トセリ故  
ニ町村浦島内ナル土地人民ハ則其株  
主タルノ權カヲ有シ他府縣ニ轉籍ス  
ルモノハ其日ヨリ權カ隨テ消滅シ他  
府縣ヨリ入籍スル者ハ其日ヨリ權カ  
ヲ有ス然レモ一國一郡ヲ分割シテ他  
府縣ノ所轄トナルニ於テハ資本金ノ

幾分ヲ分付スルノ規則ト云又此資本  
金ヨリ生スル殖益金ハ本年ヨリ以後  
八年々關係各町村浦島ハ分配ス  
島ノ地價ト戸數ト其分配ヲ請ケタル  
ヲ折半シテ算出スルハ之ヲ一戸一人ニ分配  
町村浦島ニテハ之ヲ一戸一人ニ分配  
スルヲ許サス學事土木衛生備荒ノ四  
目ニ限り支用スルヲ得セシムルト云  
右山口縣士民ノ共有金ハ一時勸業局  
ノ資本金トナリ又分レテ士族ノ共有  
金ハ就産所資本金トナリ平民ノ共有  
金ハ協同會社ノ資本金トナレリ然ル  
ニ就産所金ハ其處分方ニ付キ種々議  
論モアリシヤニ聞ヘシカ抑此金ノ性

質ハ共有ニシテ士族一般共ニ其利益  
ヲ享ルヲ主旨トスルカ將々同族ノ德  
義ヲ以テ無産ノ者ノミヲシテ産業ニ  
就カシムルヲ以テ主旨トスルカ其名  
義ハ己ニ就産ト號スレハ勿論無産士  
族ヲシテ産業ニ就カシムルノ本旨ナ  
ルヘシト雖氏其事業ニハ備荒儲蓄ノ  
一アリ又本年ヨリハ利子分配ヲ止メ  
困窮士族ヲ救助セントスルトノ議モ  
アリテ主旨判然タラサレトモ頭取等  
東上計畫中ノ一ナレハ未タ如何相成  
ルカラ知ルヘカラス協同會社ハ就産  
所ニ異ナリ全ク共有ノ性質ヲ以テ名

義モ共同ト號シ其事業モ專ラ一般ノ  
幸福利益ヲ謀ルヲ務メ名實主旨能ク  
貫徹セリ  
山口縣管内勸業事務ノ一置縣以來未  
タ著シキ其功績ヲ見ス士族平民共其  
志深カラサレニ非ス其資金ナキニ非  
サレ氏如何セン未タ長官ノ其事ニ厚  
ク注意スルニ逢ハサルヲ故ニ産業物  
産等ニ關スル會社ノ如キモ皆見聞狭  
ク製品時様ニ後レ賣買便ヲ知ラス器  
械利ナラス不慣士族ノ如キハ最以テ  
憑ル所ヲ知ラス業ヲ起セハ必ス失敗  
物ヲ造レハ必ス損耗シ徒ラニ困究ヲ

重ナルモノ多シ阿武郡生産會社ハ明治十二年開設足袋ヲ製造ス十六年迄  
其數凡ソ八万足今以テ售レズ残り  
アルモノ多シト云  
其他萩工業場ハ水綿糸ヲ製造シ萩江  
向織工場ハ水綿飛白縞等ヲ織リ萩川  
島製糸場ナルモノハ此度新ニ設テ六  
馬力五十人取ノ蒸氣器械ヲ拮付タレ  
トモ器械ハ甚粗造ナリ勝坂工業場ハ  
在來ノ水車ニ綿糸紡績器械ヲ仕掛ケ  
タル故ニ甚不完全ナリ三田尻工場蒲  
團ヲ造リ又水綿縞ヲ織ルニ大和機ヲ  
用ユ昨年ヨリ此機ヲ織ルテ初メテ

傳習シタリト云松本尚象社ハ陶器ヲ  
製造ス形体野鄙近頃下等品ヲ製スル  
ヲ專ラトスル故ニ退歩ノ狀アリ豊浦  
藁紙製造場若國製紙場等アレ氏皆振  
ハサルノ景況アリ或ハ就産所ヨリ管  
轄シ或ハ就産金ヲ借り起業スルモノ  
モアリ皆士族ノ發起從事スルモノナ  
リ又保全社ナルモノアリ萩地士族ノ  
産業ハ養蠶ニアリト見認メ明治十四  
年ヨリ七十本餘ノ桑ヲ植付尚川島製  
糸場ノ蒸氣器械ハ即今過大ナレ氏彼  
ノ器械ヲシテ過大ノ咎メナカレシメ  
ント頻リニ衆園ヲ開クテ盡力セリ



是等皆縣廳ノ誘導指揮ヲ希望セリ  
萩住居ノ士族赤川任母赤川ミチナル  
者若年ノ頃ヨリ木綿ヲ織ルヲ善ク  
セリ明治三年ヨリ織場ヲ設ケ本年六  
月迄ニ教授スル所ノ婦女千七百二十  
餘人ニ及フ今ハ就産所萩織工場ノ教  
師ヲモ勤メ自宅ノ工場モ益盛ナル景  
況ナリ其尤幼ナル生徒ハ八歳計リニ  
シテ已ニ機ニ上リ織ル者アリ即今自  
宅ニ就テ職業ヲ學フモノ現數八十五  
人門ニ表シテ嫩貞松舎ト號ス維新前  
後家事ニ頗ル困難アレ氏敢テ屈セス  
唯勉強ヲ以テ獨力維持ス織場設立後

モ或ハ其製品ノ高價ナルヲ評スル者  
アリテ發賣為メニ減スルヲアルモ亦  
敢テ屈セス終ニ用ヒテ其効アルヲ漸  
ク世上ニ知ラレ飛白水綿ノ如キハ赤  
川飛白ト称シ賞與スル者尤多ク萩地  
物産ノ一トナリシハミチノ勉強耐忍  
力ノ能ク致ス所ナルヘシ  
岩國ニ義濟堂トル者アリ是亦士族ノ  
産業場ニシテ明治六年十二月創設ス  
社長三須成懋ナル者ハ頗ル勉強耐久  
ノ力アル者ニシテ其前曾テ西京ニ登  
り勸業場及ヒ諸工場ノ設置ヲ見歸テ  
生徒二人ヲ撰ヒ京都織殿ニ從學セシ

ノ以テ佛朗西手織機ヲ此ニ傳フ爾後  
漸次ニ擴張シ現今ノ工業左ノ如シ

一機織 一繰糸

一メリヤス製造 一沓下足袋製造

一綿繰 一綿打

一裁縫 一糸引

一色染 一紙鹿

一活版 一養蠶

一製糸

各工場ヲ設置スルノ第一場ヨリ第十  
場ニ至ル出張所ヲ設ル或ハ所一ハ防  
州今津一ハ攝州大坂トス事務ヲ分掌  
スルノ左ノ如シ

行務課

掌計課

憲法課

地家課

融通課

織縫課

營生課

精算所

産紙所

商務所

活版所

習學所

器品所

治産所

集産所

獎業所

採糸所

出納所

受付所

課ニ課長ヲ置キ所ニ主管ヲ置ク課内  
ニ部ヲ置キ部ニ提理アリ各其業ヲ分  
掌ス又同族中金祿公債證書ヲ維持ス  
ル爲メ保監ヲ請フ者アレハ之ヲ預リ  
祖先ノ遺物ヲ重シスルノ孝義ニ對シ  
義積金ト稱スル金員ノ内ヲ以テ褒賞

ヲ與フ又十錢以上ノ金預リヲ為シ又  
同族死亡火災等ニ罹レハ五圓以下壹  
圓以上ノ恤給ヲ行フ又獎業所ヲ置キ  
同族將來ノ就業ヲ獎勵シ同族中情願  
人ノ製品ヲ無手数料ニテ賣捌キ又ハ  
資本金ヲ貸渡ス又教育ヲ含包シテ法  
憲研究世務講習等ノ下アリ習學所ア  
リテ讀書簡牘習字算術等ノ教授アリ  
俊秀ヲ撰テ社賞ヲ以テ東京其他ニ生  
徒ヲ派遣スルノ事アリ毎年十月獎業  
競取會ヲ開キ地方諸物産ヲ蒐集シ優  
劣ヲ鑑別シ優等ナル者ニ褒賞ヲ行フ  
等ノ事アリ五畿内山陽山陰ヲ巡察セ

シ中ニテ士族ノ授産場多シト雖モ此  
義濟堂ニ及フモノナシ其主義トスル  
所モ別紙時事通示書ニ於テ見ルヘシ  
資本金ハ舊藩主吉川經健ノ出金ト社  
員ノ預ケ金ヲ併用シ現今地所建家器  
具現金等ヲ總計シテ凡十五萬圓餘ナ  
リト云此社蓋シ規則ノ嚴ナルト三須  
其他役掛リノ者ノ勉強耐久ノ力ヲ以  
テ能ク此旺盛ヲ致スモノナラン  
鳥雀ハ春ニ孵シ蟋蟀ハ秋ニ吟ス世  
界大勢ノ四時ヲ成ヌヤ方今氣運ノ  
進度ニ從テ人々皆其腦漿ヲ衝動シ

別紙 時事通示

各地政黨沸然トシテ樹立シ演説ニ  
新誌ニ論談日ニ罵然タリ而テ我縣  
立社ノ多キ未タ主義ヲ政黨ニ喧嘩  
スルモノアルヲ見ス此頃長防自由  
黨ナルモノ始テ起リ將ニ集會ヲ山  
口ニ開カントス憶フニ是ヨリ縣内  
如何ナル流派ノ相繼テ競立シ互ニ  
軋轢ヲ生スルアラシクモ亦測ルハカ  
ラズ同志諸君其レ輕動スル勿レ夫  
レ吾輩平素講窮スル所大本一道彼  
ニ恃マス此ニ求メス徹上徹下常定  
確如ナリ又惡ンソ他ヲ顧ミシヤ唯  
恐クハ少年客氣ノ士或ハ汎然輕前

シテ岐路ニ迷馳スルアラシク古  
ニ云フ一言憤事一人定國ト豈ニ慎  
マサルハケンヤ抑彼ノ帝政黨ナリ  
改進黨ナリ自由黨ナリ保守黨ナリ  
甲ナリ乙ナリ皆各其見ル所ニ從テ  
皆各其言フ所ヲ異ニシテ萬議殆  
ント底止スル所ナキナリ此際若シ  
危論浮談ニ漾蕩サレテ自己立命ノ  
地ヲ誤ルアラハ終身失節ノ汚名ヲ  
取ラン吾輩嚮ニ互講通示ヲ以テ主  
義概綱ヲ掲ケ特立固本ノ方向ヲ立  
ルハ諸君ノ己ニ自ラ知ル所ナリ吾  
輩主義ノ不偏不倚ニシテ大公中正

ナルハ恰モ光風霽月ノ地面ニ雲煙  
ヲ拂ヒ靄マトシテ大空ニ輝々スル  
カ如シト信ス豈ニ公明快豁ナラス  
ヤ今ヤ政黨多シト雖モ之ヲ要スル  
ニ制法ヲ主トスルモト自由ヲ主  
トスルモノトノ兩般ニ出テス蓋シ  
性トハ生ナリ生アレハ性アリ性ニ  
率フハ生ノ理ナリ而テ性ハ情ニ依  
テ顯ハル情ノ顯ハルハ即チ生ノ  
自然ニシテ性ノ自由ナリ唯情理其  
中正ヲ得レハ則チ事其法ト成リ物  
其制トナル忠信モ之ニ生シ交際モ  
之ニ起ル尼父ノ彝倫ヲ説キ基督ノ

宗教ヲ講スルモ亦皆此理ニ外ナラ  
サルナリ萬國公法ノ其原ヲ起スモ  
亦此情理ニ基カサレハ其辭ヲ立ル  
能ハス故ニ法制ト自由ハ互ニ密着  
併行シテ相離レス能ク其中正ヲ執  
レハ内ハ身家ノ事業ヨリ外ハ世界  
交際ニ至ル迄之ヲ用テ善美ナラシ  
ルモノナシ之ヲ行テ窮マリ盡ル  
ナシ若シ夫レ法制其中正ニ離レテ  
壓抑ニ尤進スルヤ人々其情理ヲ屈  
折サレテ天賦ノ靈能ヲ發暢スル  
ヲ得ス呂秦ノ虐政ノ如キ路易ノ變  
乱ノ如キ當世子孫ニ至ル迄生民ノ

不幸豈ニ之ヨリ過ルモノアランヤ  
然リ而テ人能ク法制ノ弊害ハ之ヲ  
言フト雖自由主義ニ至テハ進一進  
到底過不過ヲ論セス善盡キ美極リ  
弊害絶無ト安着スルモノ、如キハ  
抑モ何ソヤ真ニ痛歎大息セサルヲ  
得ス蓋シ自由ノ進長スルヤ老莊虛  
無ニ陥リ禪門作用ニ偏ス是レ唯自  
由ヲ私ニ僻スルナリ姑ク之ヲ度外  
ニ附ス政体ノ自由ニ涉テ將ニ其禍  
ヲ開カントスルハ其初之ヲ君民同  
治ニ根シ其漸之ヲ共和政治ニ長シ  
其終リ遂ニ破壊共產ノ主義其目途

ヲ達スルニ至テ極ラン其極マルヤ  
禮教潰乱彝倫廢滅シ己レ人ニ對シ  
テ自由ヲ施シ人亦我ニ向テ自由ヲ  
行ヒ父兄ニシテ自由子弟ニシテ自  
由主夫モ自由妻妾モ自由臣民ハ自  
由ニ私ヲ暴行シ官吏ハ自由ニ法ヲ  
擅用シ強富ハ益々横虐ト成リ貧弱  
ハ彌ヨ卑窮ニ沈ミ家ニ戸主ナク國  
ニ君長ナク到底如此ナラスンハ則  
饑カサラン豈ニ悚然トシテ懼レ且  
ツ憂ヒサルヘケンヤ吾輩熟ラ  
皇國ノ沿革ヲ考フルニ帝政ノ範々  
ルヤ君主先ツ定テ民人之ニ從ヒ

天統一系萬世窮リナレ大綱嚴明  
倫常正確君臣上下ノ名分決シテ毫  
モ紊ルヘカラサルナリ吾輩又何ソ  
今日ニ歎々セシヤ改進ノ政タルヤ  
戊辰封縣ヲ廢シテ萬古稀有ノ急進  
ヲ行ヒ今ニ至リ舊弊ヲ釐革アルニ  
アラサルハナシ自由ノ澤タルヤ武  
門壓制ノ羈絆ヲ解キ千載埋没ノ民  
權ヲ發揚シ駿々トシテ止マズ立憲  
ニ進ミ國會ニ至ル保守ノ制タルヤ  
華士ノ族籍ヲ置キ社寺郡村ノ教慣  
ヲ存シ人民ヲシテ故ヲ重シ厚ニ歸  
セシム畢竟党人ノ論スル所ハ都テ

皆自己眸下ニ其活狀ヲ現ス今之ヲ  
是省ミスシテ反テ他ニ向テ喧囂ス  
ルハ共ニ浴シテ人ノ裸體ヲ笑ヒ己  
ニ冠シテ自ラ冠ヲ搜ルカ如シ識者  
之ヲ卑ム吾輩皇國ノ臣民タルモ  
ノハ宜シク大義名分ノアル所ヲ察  
シ先ツ謹テ憲法國約ノ權限欽定  
ヲ持ツヘキナリ皇國ニ皇國ノ  
國体アリ海外ニ海外ノ國制アリ豈  
ニ急躁横議妄ニ外ヨリ襲テ以テ  
朝廷肝腎準備ノ事ヲ傷クヘケンヤ  
且夫レ海外星羅万邦亦皆其政法ヲ  
一ニスル歟見ヨ狹斜ノ嬌粧ハ以テ

田畷ノ家法ニ施スヘカラサルナリ  
漁人ノ綱伍ハ以テ樵夫ノ薪則ニ用  
ユヘカラサルナリ大小其物異ナル  
モ情理其揆同シ人能ク平心之ヲ反  
省セハ胸宇豁然トシテ洞明ナラン  
嗚呼帝政黨ナリ改進黨ナリ自由ナ  
リ保守ナリ吾輩同胞共ニ同シク  
皇國ノ太氣ニ呼吸スルモノ況ンヤ  
又其言フ所ハ氣運四時ノ天籟ニシ  
テ皆自ラ樂テ其性情ヲ吟詠スルノ  
徒々ルヲヤ彼ノ鳥雀ノ春ニ嚶スル  
蟋蟀ノ秋ニ吟スルト又何ソ異ナラ  
ンヤ吾輩彼ニ於ケル渾テ是一齊器

用シ視其否ハ則チ之ヲ措キ其臧ハ  
則之ヲ擇テ可ナリ吾輩ノ大本一道  
豈ニ此輩ノ為メニ輕重セシヤ今ニ  
當テ之ニ處スルハ唯其レ諸君丹田  
精神ノ強弱如何ト顧ルノミ輕々妄  
ニ時論ニ迷馳シテ貴重ノ心身ヲ誤  
傷スル勿レ又恣ニ父祖ノ產業ヲ忘  
テ地方ノ安寧ヲ攪擾スル勿レ嗚呼  
諸君立脚地步ヲ占ルハ其レ此時ニ  
在歟

明治十五年五月廿八日 岩國義濟堂

長門國厚狹郡西須惠村ノ内小野田ニ  
設置スルセメント製造會社ハ社長本



縣士族笠井順八等ノ發起スル所ニシテ此邊海底ノ泥ト石灰トヲ混合製煉シテセメントヲ造ル亦士族ノ産業會社ニシテ社長取締技長技手等七人ニシテ株主ハ同族百四十八名トス此場ニ仕役スル職工人夫等モ多クハ同族ナリ其製品ハ曾テ工部省ノ試験檢濟ト云本社ノ主意ハ同族就産ノ目的ト外國ノ泥土ヲ金貨ニテ購入スルヲ防遏セントノ念慮ニシテ株金トシテ七分利付ノ金祿公債証書額面八万七千円ヲ同族同志ノ者ヨリ募集シ拜借金其他ノ抵當ニ充製造器械及ヒ土地家屋

附屬品建築費其他諸雜費共金六万円ヲ要スル豫算ヲ以テ農商務省ハ願出タル處二万五千円拜借相叶二万四千六百円餘他ヨリ借り入レ此場ヲ開キ二十馬力ノ蒸汽器械其他モルタール煉器械等ヲ据付ケ石灰製造所アリ煉化石製造所アリ事業隆盛ヲ致サントス然ルニ二万五千円ノ拜借金ハ明治十三年七月ヨリ十八年六月迄無利据置キ十八年七月ヨリ往十五ヶ年賦四朱利付ナレ氏他ノ借り入金ハ利子壹割五分以上ヲ要シ又器械購求ノ時ハ銀貨恰モ騰貴ニ際シ豫算ヨリ經費夥

多ニシテ營業資本必數ト成リ持ニ當  
時銀貨下落ニ付英國製ノセメント廉  
價ニ購入相成競争賣却製品ヲ廉價ニ  
セサルヲ得スソハ非常ノ勉強ヲ以テ  
冗費ヲ省キ製品ヲ多クシ飽クマテ競  
争ノ素志ヲ達セントスルモ如何セン  
營業資本必ク借入金利高クシテ困難  
堪ヘ難キニ至ラント恐ル仍テ尚三万  
五千円ヲ年八朱利付十ヶ年賦ニテ拜  
借ヲ出願セントスト云此場過日工部  
卿モ巡視セリト聞ク製品用ニ適シ工  
場不都合ナキニ於テハ外品ノ輸入ヲ  
防ク一產物タルヲ以テ官金ヲ貸シ與

ハ保護アルモ他ノ目的慥ナラサル士  
族營業ノ為メニ授産金ヲ貸スニ勝ル  
ハシ  
山口縣管内士族ノ總戸數ハ一万六千  
二百五十九戸ニシテ各地ニ散居スト  
雖モ阿武郡萩豊浦郡豊浦玖珂郡岩國  
郡濃郡徳山ハ皆舊城下ニシテ從來士  
族集居ノ地又吉敷郡山口ハ舊藩主後  
ニ移住ノ地ニシテ續テ縣廳ノ在ル所  
ナレハ此地ニ住居スル者モ亦多シ然  
レテ其尤多ク集居スル所ヲ萩地トス  
其貧困ナルモノ尤多キモ亦萩地トス  
世間萩地ノ士族ニハ餓死スル者アリ

トノ風説アレ氏士族平民ニ限ラス餓  
死ニ及フ程ノ貧究ナラハ國庫金ヲ以  
テ究民救助ノ規則アリ若シ年齢其他  
其規則ニ當ラサルモノナルモ實際止  
ムヲ得サル場合ナルトキニハ人民保  
護ノ地方廳豈状ヲ具シテ救助ヲ請求  
スルノ途ナカラシヤ餓テ死セシトハ  
全ク訛言ト断言ス可シ然レ氏從來大  
禄ヲ食ミ活計ノ道ニ疎クシテ貧困ニ  
迫ル者又懶惰ニシテ自活スルヲ能ハ  
サル者等ハ素ヨリ少カラス救ニ於テ  
聞ク處ニ據レハ極貧士族ハ親戚朋友  
同族等ヨリ度々救助スルモ救助スレ

ハ即時ニ消費シ聊生活ノ計ニ志ナキ  
者多ク救助スル者モ終ニ救助ノ念ヲ  
断ツニ至ルト云又舊禄千石以上ニシ  
テ破産居處不分リノ者五名アリ昨十  
五年ヨリ貧困ニシテ死後埋葬ノ費ナ  
キ者十九人ハ就産所ヨリ金十圓充  
テ付與シ極貧ノ者十九人ハ白米壹合  
五夕宛十日間ヲ限り日々生産會社ヨ  
リ拂渡セシトモアリト云ハ餓テ死  
タル者ハ無キモ貧困究迫ノ者ハ素ヨ  
リ多シ三十餘万圓ノ共有金アリナカ  
ラ斯ク貧困ニ迫ルトハ亦奇怪ノ事ナ  
ラスヤ

防長二州ノ産物中其最ナル者ハ米ナ  
リ其産額ハ維新前後大ナル増減ナシ  
其管外輸出ハ増減甚大ナリ舊藩中ハ  
管外輸出凡貳三十万石ナリト云然ル  
昨明治十五年ニテハ輸出高十貳万  
石ニ足ラスト云是地租改正後ハ租額  
大ニ減シ農家ノ生計寛ナルヨリ米食  
スル者多キヲ加ヘ自カラ此輸出額ヲ  
減セシナルヘシ  
食塩ハ維新前後著シキ盛衰ナシ昨十  
五年ノ産額ハ六十四万六千石餘ニシ  
テ代價六十五万貳千圓餘ナリト云  
草綿ハ周防國玖珂熊毛都濃佐波等ノ

各郡固有ノ物産タリシモ往時産額ノ  
半ニ及ハス是全国一般ノ通患ナル船  
來金巾ニ壓セラレ内國木綿織ヲ用ユ  
ル者減セシヨリ耕者ノ不利ヲ生シ僅  
ニ百三十餘万斤ニ過キスト云明治十  
二年ヨリ栽培方製造方等ノ會話ヲ開  
キ各地ニ於テ改良方ヲ講究スト云  
紙ハ舊藩中其産出最モ多クシテ且上  
品ナリシハ防州玖珂郡佐波郡トス其  
地山間ニシテ田畠以ク民食不足ナル  
ヲ以テ藩廳ヨリ米穀ヲ貸與シ紙ヲ以  
テ返納セシム此米ヲ民間呼テ紙漉飯  
米ト云返納紙ヲ上納紙ト云依テ吏ヲ

出シテ其紙ヲ検査セシメ嚴ニ製造ラ  
成メタリ故ニ其製紙ハ品位漸次ニ上  
リ京攝間ニテモ稱譽セシコトナリシ  
ニ發藩後其制破レ隨テ紙ノ品位大ニ  
下リタリト云之ニ反シ長州美禰郡邊  
ニ産スル紙ハ舊藩中ハ西方紙ト號シ  
最下等ノ紙タリシカ明治十二年比ヨ  
リ製紙會話アリテ改良ノ一ニ熱心シ  
今ハ品位玖珂佐波ニ拮抗スルニ到リ  
レト云  
鹽實ハ舊藩中ハ防長ノ物産ヲ談スレ  
ハ必ス米紙蠟ト屈指セシカ近來石炭  
油所用ノ路開ケシヨリ漸衰微シ明治

十四年ノ調査ニテハ生蠟五十万斤ニ  
過キスト云  
木綿織ハ舊藩中防州地方ニ專ラ製出  
セシカ今ハ長州萩地士族ノ婦女モ亦  
製出スルトナレリ蠶糸ノ如キハ防  
長一切蠶糸ナレト云フモ可ナル景况  
ナリシニ近頃萩地ノ士族養蠶ニ盡力  
スル者漸次ニ相増シ桑園年々開クニ  
勢ナレハ縣廳ノ誘導宜ク得ハ防長新  
ニ一ノ産物ヲ増サレ  
長門國大津郡浦々ハ捕鯨ノ收利多キ  
處トス從前瀬戸崎浦ノ内仙崎浦方ノ  
宮本七郎ナル者捕鯨總代人タリシ片

浦ノ町方ハ、關係ナカリシニ明治十二年同地住人横山治郎吉田六郎衛等主トシテ捕鯨ハ瀬戸崎浦浦方町方ノ分チナク一般ノ協同物ナリトシ山口裁判所へ出訴シテ全浦ノ協同物ナリトノ判決ヲ得横山治郎吉田六郎兵衛南野謙民村井春生等捕鯨總代ノ鑑札ヲ願ヒ請ケテ是白瀉大日比、人民肯セス取消トナリ更ニ熟議ノ上願ヒ出ヘレト、一ナレ氏今以テ熟議整ハスト云是ヨリ曩キ宮本七郎總代ヲリレキ瀬戸崎浦捕鯨組ノ内沖網代ヲ川尻村捕鯨組ハ年限ヲ以貸渡シ

年々金若干鯨肉若干ヲ請ケ來レリ横山等カ總代タルニ際シ貸借定約ヲ改メタリシニ明治十四年仙崎町方ノ者發論シ現今ノ總代人、對シ捕鯨組代ヲ他浦へ貸借、一ハ委任セスト山口始審裁判所へ出訴シ貸渡定約ハ無功トナルニヨリ川尻浦捕鯨組服セス又之ヲ控訴裁判所へ訴勝ヲ得タリ仙崎町方人民ハ猶又服セス横山治郎吉村井春生ヲ遣リ大審院へ上告セシハ昨十五年ナリ本年ニ至リ仲裁人出テ其間ニ周旋シ和議ヲ唱ヘ川尻日リ學校寄附金ノ名義ヲ以テ金若干ヲ町方へ

贈り且村井等ヲ東京ヨリ喚ヒ返スヘ  
 キ賞金若干ヲ出サシメ和解成テ双方  
 祝酒ヲ酌ミ仲裁人ヘモ酒肴ヲ送り風  
 波爰ニ治リタリ時ニ春生突然召喚状  
 ヲ携帶シ歸リ己ニ成リタル和解ヲ破  
 ル被告川尻ノ者トモ、敢テ屈セス召  
 ニ應レテ上東セリト云フ捕鯨營業ニ  
 付テハ獨リ瀬戸崎ノミナラス各浦常  
 ニ爭論絶ヘサルハ畢竟莫大ノ利益ニ  
 關スル營業ナル故ナリ凡大津郡各浦  
 ニ得ル處ノ鯨數及ヒ其代價前五ケ年  
 ヲ平均スレハ一ケ年ノ捕獲數ハ三十  
 尾内外ニシテ代價ハ一尾ニ付二千円

内外タルヘシト云  
 山口縣管内ニ於テハ凶歉豫備ノ貯蓄  
 穀稍確實ナリトス抑本縣ハ舊藩中其  
 制大ニ行ハレ社倉又ハ凶年圍或ハ寛  
 政圍其他撫育倉等アリ置縣ノ後猶縣  
 廳ニ於テ保管スル所ノ穀四万餘石明  
 治十三年ニ前縣令関口隆吉凶荒曆ヲ  
 分テ凶荒豫備ノ要用ナルヲ論シ又保  
 管スル所ノ穀ヲ各郷ニ分割貯藏セシ  
 ム然ルニ近來比年豊熟ニ際シ民間之  
 レニ慣レ動モスレハ他ニ浪費スルノ  
 恐レアルニ因リ明治十五年更ニ其方  
 法ヲ定メ一層之レニ干渉シ増積ヲモ

促セリ其法中金錢ニ代へ蓄フルヲ  
許サス倉庫ノ開閉ハ必ス都區役所  
検査封緘リテ受ケシムル等ハ尤貯蓄  
ヲ確實ナラシムルノ要點ナリ  
明治十三年衛生費トシテ下賜セラレ  
シ内庫ノ金千圓ハ之ヲ管内ニ告示シ  
勸旨ノ優渥ナルヲ奉體シ衛生豫防  
ニ怠ル可カラサル旨ヲ以テ衛生資  
金ノ基礎トシ管下有志者ノ寄付金ヲ  
加へ公債証書ニ代へ年々利倍增殖シ  
其利ヲ以テ傳染病豫防費或ハ究民救  
療費ニ充テ以テ永ク人民ヲシテ此恩  
澤ニ浴セシメントスト云

山口縣管内ニハ中學校五ヶ所師範學  
校一ヶ所小學校八百七十有餘アリ五  
中學校ノ内高等科ヲ授業スルハ山口中  
學校ノミニシテ他ノ四中學校ニテハ  
初等科ノミヲ教授ス其四中學校ハ萩  
豊浦徳山岩國ニ之ヲ置ク萩ハ舊城下  
ノ地タルヲ以テ今猶士民多ク居住ス  
ル所ナリ豊浦徳山岩國ハ舊末藩ノ城  
地タリシ處ナレハ各中學校ヲ置シナ  
ルヘシ師範學校ハ山口ニ設ケタ  
り佐波郡三田尻ニ周陽學舎ナルモノア  
リ是亦普通ノ中學校ヲ教授ス三田尻



ハ舊藩中士族ノ多ク住居スル處ニシテ從前學事モ盛ナリシ然ルニ維新後此地ニ中學ノ設ケナキ故同郡士族岡村彦共工發起ニテ同志十餘名ト東西奔走佐波郡南部ノ士族千餘人ト謀リ其資産ノ厚薄ニ應シ私資ヲ捐テ此學校ヲ創立セント企テ終ニ明治十年其功ヲ竣ノ當初資金ヲ醜集セシハ三千三百円餘此内ヨリ校舍建築ノ費用ヲ引去リ殘金ノ利子ト縣廳特別ノ補助金等ニテ年々ノ經費ヲ支辨セシカ明治十二年以降百方計畫シテ遂ニ七千餘円ノ資金ヲ積ミ一ヶ年ノ經費七八

百円ヲ支辨スルニ至レリト云現今學科ヲ改良シ初等中學科ノ地位ニ進メ教授懇ニシテ生徒百三十一名内三十一名ハ入舎シ他ノ四中學ニ比スルニ却テ盛ナリトス然ルニ此費用金ノ内ニハ士族就産所ヨリ配付スル所ノ利子金モ包含シ居以テ費用ヲ助テ來リシカ今般右配付ノ利金ヲ廢止セルニ付テハ將來ノ維持ニ苦シムト云萩地ニモ巴城學校ト稱スル一種ノ學校アリ校舍ハ商家ノ廢屋ヲ借り用ユ其教授スル業四曰ク漢書曰ク英書曰ク算術曰ク體操トス生徒百六十五人

ナリト云ト雖モ萎靡トシテ振ハス其  
体操ナルモハ撃劍ナリ費用ハ月  
百円就産ノ利子配分ノ内士族總代ノ  
議決ヲ以テ之ニ充ツ或ハ云此校ハ明  
治十四年世間政党頻リ起リ人情浮  
薄ニ流レ風俗紊乱スルヲ憂ハ其風潮  
ヲ拒カレ為メ有志結合セシモ管内ニ  
ハ断シテ自由民権党ナシト云フモ可  
ナル景況ナレハ終ニ學藝ニ涉リ文武  
ヲ研究スルヲ專ラトセシラ濫觴トシ  
此校ヲ設置セリ然レ氏近頃就産金利  
子配付ノ一廢止トナリシヲ以テ此校  
ノ廢止モ亦將ニ近カラントス

同地松下塾ハ勤王正義ニ著名ナル  
故吉田松陰ノ私塾ナリシカ今尚繼續  
シテ松陰ノ兄杉民次漢書ヲ教授ス生  
徒三十六人ナリ  
山口縣華浦醫學校ハ天保十一年長門  
國萩八町ニ於テ創テ醫學所ヲ置キ後  
好生館ト稱シ其後藩學明倫館内ニ移  
シ好生堂ト改稱シ尋テ同所新濠ノ地  
ニ新築シ慶應元年周防國山口金古曾  
村ニ移シ山口好生堂ト稱シ傍ラ軍事  
病院ヲ設ク明治元年西門前町ニ移シ  
醫院ト改稱シ同六年官費支給ヲ廢シ  
公費ヲ以テ支辨ス同七年三田尻ニ移

レ傍ラニ病院ヲ設ケ華浦醫院華浦病  
院ト稱ス後醫院ヲ改テ醫學校トス十  
年七月共ニ之ヲ廢セシニ校長福田正  
二私校ト爲レテ之ヲ維持ス同十三年  
十月又縣立ニ復シ山口縣醫學校ト稱  
シ同十四年十月今ノ名稱トナル十五  
年度ニ於テハ千七百七十六円二十五  
錢ノ支出金ニシテ地方稅ヨリ支辨ス  
教員五人生徒四十名アリ原因スル年  
曆久シト雖モ方今ノ勢ニテハ萎靡振  
ハサルノ景況ナリ  
長門國厚狹郡船水市ニ設置セル德基  
學舎ハ專ラ女子ヲ教育ス明治六年舊

藩老臣毛利元美、妻毛利勅子ノ創業  
ニ係レリ勅子温順貞操學事女紅ヲ兼  
備セリ是ヲ以生徒日ニ増シ學則月ニ  
開ケ校舎狹隘容ル、下能ハサルニ到  
ル終ニ縣廳ニ請フテ縣廳ノ補助金ト  
有志者ノ寄付金トヲ以テ十一年十二  
月新築工事ニ着手シ十二年四月ニ竣  
功ス斯ノ年勅子物故ス終ニ德基ヲ以  
テ校名トセリ其後郡内協議費ヲ以テ維  
持セレニ本年聯合會ニ於テ之ヲ廢セ  
リ依テ船水市街ノ人民毎年若干金ヲ  
釀出シ維持スルノ議ヲ發シ幸ニシテ  
廢校ニ到ラスト雖モ學資ノ乏シキト

良女教師ノ得難キヲ苦シム勅子死後  
既ニ四年人民猶之ヲ追慕スル深シ  
畿内ヨリ山陽道ヲ西下スレハ學事次  
第ニ降り山口縣管内ニ入レハ俄ニ昇  
り然而山口縣管内モ亦一定ナラス山  
口ヲ中央トシテ南北ヲ分ナ山口以南  
ハ其盛ナル一兵庫縣下ト拮抗ス可ク  
山口ヲ去テ北方ハ降ル一數等トス然  
レ氏人心ハ學事ニ傾向シ尤修身道德  
ノ學ヲ重シレ中學師範學校等ハ老年  
ノ輩出勤シテ其教育ヲ助ク山口中學  
校ノ市川文作同師範學校ノ能美遠新  
山忠萩中學校ノ中村雪樹岩國中學校

ノ塩谷處等ノ如キ舊藩中ノ老學者或  
ハ舊藩中要路ノ官ニ在リシモノニシ  
テ今ハ攷々トシテ修身教育ニ從事セ  
ル者多シ且ツ教員ヨリ生徒ニ至ルマ  
テ仰テ縣廳ノ誘導ヲ企望スル者ノ如  
シ然レ氏前ノ學務課長其器ニ當ラヌ  
學事衰替スルヲ以テ縣會ノ云々セシ  
テモアリテ年々中學校費ヲ減縮シ本  
年ニ到リテハ終ニ議會ノ削除スル所  
トナリ學事擴張ノ勢力ヲ失ヘリ  
山口縣下ノ民情尚一層縣廳ノ干渉誘  
導ヲ企望スルノ景況ナリ今ヤ縣官ニ  
於テモ干渉獎勵ノ志アリト雖モ經費

不足ヲ恐レ事務ヲ舉クル能ハス本  
縣管内ハ前ニモ記載セル如ク積年非  
常ノ艱難ヲ經タル國ナレハ從前職ヲ  
茲ニ奉スル者ハ偏ニ人氣ノ動搖ヲ恐  
レ警察ニノミ心ヲ注キ他ノ學事勸業  
衛生等ノ如キハ成ヘク干涉セサル  
ヲ旨趣トセシ乎措テ問ハサル者、如  
クナリシ故其費用ハ積年僅必ニシテ  
經過スレバ事務大ニ他府縣ニ後レ今  
ヤ俄ニ事毎ニ着手セサルヲ得サル  
場合トナレリ人民ハ諸事縣廳ノ誘導  
ナキヲ憂フルト久シク殊ニ道路改修  
ノ如キハ方今民心傾向競テ其工事

着手ヲ望ム縣官モ亦其志アレバ經費  
ノ増額ヲ恐レ殊ニ十四年度ヨリ一般  
ニ定額トナリシ上ハ萬一不足ヲ生ス  
ルアルモ増額請求ヲ得ス後年度ヨリ  
操上ケ支辨セシカ年々積テ終ニ如何  
トモスル能ハサラシテ恐レ將ニ經  
費増額ヲ願出ントスト云從前事務ニ  
着手セサル時ノ費額ヲ以テ自今後頻  
ニ着手セサルトテ得サルノ費額ニ充  
ントスル其足ラサルト勿論ナリ縣廳  
ノ事務舉ラズ人民ノ望ニ稱フ能ハサ  
ル止ヲ得ナル次第モアルナリ  
山口檻獄署構造狹隘堅カラズ又不潔

ナリ現今三月十日在檻囚千五人内已決  
 囚七百九十三人未決囚百八十七人別  
 房留置二十五人ニシテ尋常病ニ罹ル  
 モノ百四十四人當春來檻中腸窒扶斯  
 流行シ之ニ罹ルモノ總計百二十餘人  
 ニシテ死亡三十餘人アリ昨年モ流行  
 シ患者死人共殆ント本年ニ倍シ獄吏  
 ニモ傳深シ死亡セシ者二十餘人アリ  
 シト云フ目下猶此病ニ罹ル囚人十四  
 人ナリ

明治十三年ノ比ニハ大分縣平民河野  
 一郎高知縣士族松本惟繁大坂府平民  
 梅園惟秋其他輕躁シ演說者各地ヨリ

來リ所々ニテ演說會懇親會等ヲ開キ  
 シセ民心其輕薄ヲ厭忌シ終ニ聽者ナ  
 キニ至レリ昨年一月頃中國自由党本  
 部ヲ河武郡萩ニ置キ又同年三月東京  
 自由党本部幹事ノ來會スルヤ松本惟  
 繁等更ニ長防自由党事務所ヲ萩ニ置  
 キシモ維持スル能ハス本年四月解散  
 セリ又昨年十月縣會議長吉富簡一ノ  
 發起ニテ山口ニ鴻城立憲政党ヲ結合  
 シ人員百八十三名本年一月士族河野  
 寬藏宇野掌一等山口ニテ親備党ヲ組  
 織シ人員二百五十八名ナリ鴻城立憲  
 政党ハ漸進ヲ主義トシ縣會議員等ノ

財産アルモノニシテ先ツ着實ナル者  
共ナルハシ是等ハ他ヨリ政党ニ誘導  
スルヲ以テ無餘義設ケタル者ノ如シ  
親備党モ其主義ヲ問ヘハ着實主義ト  
云是ハ財産ナキ者多ク又有力者アリ  
凡見ヘス必竟振ハサル者ナルヘレ縣  
内ノ人心ヲ概言スレハ都テ民權自由  
等ヲ唱フル近時ノ浮薄説ヲ惡ム狀ア  
ルハ勤王ノ餘風尚民間ニ存在スル  
者ノ如シ  
功ヲ恃ミ勞ニ傲ルハ素ヨリ士君子ノ  
為サ、ル所ナレトモ近世世間輕薄慥  
悍ノ風行ハレ前ニ功勞アリテ後ニ用

ヒラレサル者或ハ不平ヲ抱キ官ヲ怨  
望シ或ハ人民ヲ煽動シテ政治ヲ妨ク  
ル等ノ者比々之アリ功勞アルモ忘レ  
タル如ク用ヒラレサルモ自若トシテ  
處ヲ得タル如ク況ンヤ積年報國ノ志  
ハ一點變セス民間ニアリテ尚政治ノ  
補助ヲ為スモノハ最得難シトス仍テ  
左ノ三名行狀地方廳郡役所ヨリ開申  
、終之ヲ記載ス

大津唯雪

大津唯雪ハ大津郡三隅下村ノ士族  
ニシテ村田織部ノ次子ナリ壯年ノ  
頃ヨリ舊藩主ニ奉仕シ父織部ノ業

ヲ継キ常ニ尊王ノ志厚ク維新ノ  
初夙ニ京師ニ往來シ一時幽囚ノ難  
ニ遭ヒタルモ遂ニ素懷ヲ報スルノ  
時ヲ得タリ廢藩置縣ノ際實母年老  
ニタルヲ以テ餘齡ヲ本郡舊宅ニ養  
ヒ復タ仕官ヲ事トセス實兄尪弱家  
事ヲ執ラサルヲ以テ母没シテ兄ノ  
病ヲ護スルノ母存スルノ時ノ如ク  
ス家計養蚕樹藝ヲ事トシ人民ト善  
ク馴ル交際專ラ雅致ヲ取り解諳自  
ラ遣ル萩地戒嚴ノ事起ルヤ隱ニ有  
志ノ徒ヲ謀リ率先大區扱所役今郡  
ヲ保護シ中外ニ氣脈ヲ通シ人民ヲ

安堵シ方向ヲ誤ラシメス仍テ刑累  
ニ繋ルモノ甚々稀ナリ大抵事ヲ謀  
ル頗ル緊密ニシテ冥々ノ中幾多ノ  
幸福ヲ與フル者人ノ善ヲ揚ケ人ノ  
勞ヲ頌ハス帝ニ金錢財物ヲ喜捐ス  
ルノ德行ノミナラス務メテ人ノ冤  
ヲ解キ人ノ性命ヲ得セシムルニ及  
マタルモノナリ

難波覃葺

難波覃葺初ノ傳兵衛ト稱ス周防國  
熊毛郡ノ人ナリ世々毛利家ノ家臣  
清水氏ニ仕フ其十一世ノ祖宗忠備  
中高松ノ役主宗治ニ從ヒ節ニ死ス



傳兵衛人ト為リ謹慎寡欲夙ニ忠貞  
志ヲ執リ就周元周親春及ヒ嫡子  
清太郎ニ登仕ス清太郎幼ニシテ俊  
邁癸丑甲寅以來國事多難ニ際シ清  
太郎ヲ輔ケ東西奔走具サニ鞅掌ヲ  
極ム元治元年藩論一變主トシテ尊  
攘ノ説ヲ唱フルモノ率ニ誅死或ハ  
竄流セラル清太郎モ亦之ニ死ス此  
時ニ當リ傳兵衛焦心苦慮至ラカル  
所ナレ傳兵衛主家ニ忠勤ノ棄ヲ以  
テ舊藩ヨリ數々賞褒セラル慶應月年  
不一生米壹石八斗宛ヲ賜フ傳兵衛  
再三辞スレモ許カス其後改正ニ付

奉還ス依テ藩札銀四百五十目ヲ賜  
明治三年祖先以來ノ忠節ニ對シ  
配當米給祿ヲ以テ士族ニ列セラレ  
傳兵衛配當米ヲ辞シテ受ケス主家  
手取米ノ内ヲ以テ分與祿券ヲ給ス  
復々受ケス終ニ祖先以來ノ祿悉皆  
奉還四年隱居歸農シ猶舊主清水家  
ニ奉仕スルヲ忘レス

入江石泉

入江石泉初弥源太ト稱ス周防佐波  
郡富海村ノ人商家ニシテ夙ニ尊  
王ノ大義ヲ辨ヘ文久二年同志ト謀  
り私費ヲ以テ郷校ヲ興シ農町兵ヲ

募り草莽ノ民ヲシテ正義ノ方向ヲ  
定メシム三年山口藩政事堂用掛ヲ  
命セラル又正義ヲ興起センカ為メ  
書肆ヲ開キ専ラ忠孝節義ニ係ル書  
籍ヲ廉價ヲ以テ販賣ス就中靖献遺  
言ノ如キハ幾千部ノ多キニ至レリ  
元治元年長防國難ノ際宇和島ハ使  
スル二回十月罪ヲ得徳山獄ニ下ル  
明年三月大津島ニ流サレ六月藩主  
命アリ其罪ヲ赦ス明治三年舊藩脱  
隊騷擾ノ砌盡カニ依リ徳山藩ヨリ  
藩札五百目ヲ賜フ四年徳山ニ於テ  
士族興産ノ為ニ製産社ヲ設立ス初

文久慶應ノ際世故多端而シテ富海  
ハ船舶ノ要港タルヲ以テ有志ノ士  
氣節ヲ抱テ志ヲ得サルモ藩ノ内  
外ヲ問ハス多ク來テ身ヲ投ス彌源  
太善ク之ヲ遇ス是ヲ以テ交際日ニ  
廣ク家道之カ為メニ大ニ蹙ル現今  
家ヲ其子ニ譲リ復々世事ニ関セス  
然レ氏常ニ風俗ノ澆季レ民業ノ振  
ハサルヲ憂ヒ興産授業俗ヲ厚フシ  
風ヲ正フスルノ志未タ曾テ一日モ  
息マズ其操持特ニ郷曲ノ仰ク所ト  
ナルト云フ

山口縣管内巡察記卷下

山口縣廳

管轄

周防一圓 長門一圓

戶數

拾九万千六百九十六戶

人口

八十九万七千三百六拾九人

地租

金五拾五万九千百三拾一圓拾五錢三厘

雜稅

全 金三拾万三千五百八十一圓拾八錢七厘

定額

金六万九千四百七拾五錢

地方稅

金三拾五万八千二百拾四

警部給與

金壹萬三千六百七拾三圓八拾九錢壹厘

金六圓三錢四厘 明治十四年度ヨリ繰越高

警察費

國庫下渡金二万二千九百四十圓七錢七厘

地方稅金八万五千五百拾七圓

合計金拾萬八千四百五拾七圓七錢七厘

勸業資本

金千三百六拾貳圓八拾六錢三厘

官吏

貳百四十四名

廳中分課

庶務 勸業 衛生 租稅

學務 會計 兵事

警察官吏

三拾八名 但前記官吏員數ノ中ニ入

巡查

四百六拾八名

警察署配置

警察本署

山口警察署

岩國警察署

赤間關警察署

立小路	分署	徳山	分署
鹿野	分署	小郡	分署
堀	分署	三田尻	分署
大田	分署	船木	分署
久賀	分署	柳井	分署
高森	分署	本郷	分署
通津	分署	室津	分署
室積	分署	滝部	分署
小串	分署	西市	分署
小月	分署	豊浦	分署
深川	分署	人丸峠	分署
佐々並	分署	須佐	分署
生雲	分署	下松	分署

伊佐分署

盜難ノ戸數

五千九百二十拾戸

捕賊ノ負數

七百四拾七人

監獄署

監獄本署

赤間関監獄支署

萩監獄支署

岩國監獄支署

在監囚人

未決囚 三百四十九人

已決囚 八百三十九人

郡區役所

大島 玖珂 熊毛 都濃

佐波 吉敷 厚狹 豊浦

美祿 大津 阿武見島 赤間関區

郡區長、委任ノ條件

第一條 郡區書記、事務ノ分担ヲ命

スル事

第二條 郡區書記、縣内出張巡回ヲ

命スル事

第三條 戸籍状ヲ加除スル事

第四條 脱籍無産ノ者入籍ヲ処分スル事

第五條 士族平民ノ改名願ヲ批可スル事

但奏任官以上奉職モノハ此限ニアラス

第六條 戸籍正誤願之事

第七條 平民嗣子ヲ廢止又ハ他家養

子及ヒ他家等ノ願ヲ批可スル事

第八條 人民原籍調ヲ他府縣郡區ノ照

會、回報スル事

第九條 士族戸主平民籍編入願ヲ批可

スル事

第十條 士族除族跡襲族願ヲ批可スル事

第十一條 士族除族者復籍願ヲ批可スル事

第十二條 士民家督相續延期願ヲ批可スル事

第十三條 戸主故アリ退隱或ハ放蕩ニ依リ

廢黜願ヲ批可スル事

第十四條 父母祖父母等他ハ入夫縁付又

ハ実家復籍等ノ願ヲ批可スル事

第十五條 家生ノ妻離縁願ヲ批可スル事

第十六條 実子アルモノ養子相續願ヲ

批可スル事

但士族ハ此限コアラズ

第十七條 子女アル寡婦後夫ヲ迎ヘ又

ハ実家復籍及他ヘ縁付等ノ願ヲ批可スル

事

但士族ニシテ後夫ヲ迎フルハ此限コアラ

ズ

第十八條 男子ナキモノ一女子ヲ他ヘ遣

ス願ヲ批可スル事

第十九條 失踪并受刑者跡相續及失

踪并受刑者ノ妻并養子女離縁願ヲ批可スル事

第二十條 家名ヲ廢シ他家ヘ入夫縁付

或ハ実家復籍願ヲ批可スル事

第二十一條 養戸主故アリ退隠或ハ養

父母及縁女等相續ヲサシメ実家復籍願

ヲ批可スル事

第二十二條 嗣子并孫長男女病弱等ニ

二三男ヲ嗣子ト定ムル願ヲ批可スル事

但士族ハ此限コアラズ

第二十三條 戸主死亡後嗣子幼少又

ハ事故等ニテ兄弟伯叔父及父母等該

家相續願ヲ批可スル事

但士族ハ此限ニアラス

第二十四條 子弟ノ輩分家或ハ絶家再

興ノ際血縁ノ者ヲ携帶スル願ヲ批可スル事

第二十五條 嗣子死亡後孫長男女病弱

等ニテ亡嗣子ノ妻ハ養子願ヲ批可スル事

但士族ハ此限ニアラス

第二十六條 本末ノ續柄ニ依リ嗣子ヲ養

子ニ遣ス願ヲ批可スル事

但士族ハ此限ニアラス

第二十七條 父母一旦離縁ロシ父或ハ母

ヲ其死亡後入籍願ヲ批可スル事

第二十八條 子女アルノ戸主故アリ実

家復籍後再入籍願ヲ批可スル事

第二十九條 戸主死亡嗣子處刑中ニ依

リ亡戸主ノ妻相續願ヲ批可スル事

第三十條 社寺附屬地ノ伐木願ヲ例規ニ

據リ許否スル事

第三十一條 神社結構變換ナキ修繕及

ニ寺院堂庵修繕願ヲ例規ニ據リ批可スル

事

第三十二條 教導職ノ者入家借受説教

願ヲ批可スル事

第三十三條 神社臨時祭及佛像開帳

願ノ先例アルモノヲ批可スル事

第三十四條 神官住職及教導職六級以

上ノ者他行願ヲ許可スル事



第三十五條 神社臨時祭病難除祈禱  
等ノ際神輿巡幸及ヒ寺院授戒會執  
行願ヲ批可スル事

第三十六條 難破船ヲ成規ニ據リ処分スル  
事

第三十七條 漂着物并乘組人ナキ漂着船  
ヲ成規ニ依リ処分スル事

第三十八條 賣藥受賣及行商營業願  
ヲ批可スル事

第三十九條 學務委員ニ除服出仕ヲ命  
スル事

第四十條 學務委員ノ旅行養病願ヲ  
認可スル事

第四十一條 道路掃除各町村受持ヲ定  
ムル事

第四十二條 諸遊藝及見世物興行願  
ヲ批可スル事

但無税ノモノハ此限ニアラス

第四十三條 地方税中諸會社設立願ヲ除  
クノ外諸税ニ屬スル諸營業願ヲ批可スル  
事

但稟議ヲ要スル事項ハ別ニ達スル所ニ依  
ルハシ

第四十四條 諸車檢印及賣買讓與ヲ処  
分スル事

第四十五條 煙草營業願ヲ批可スル事

第 四 十 六 條 船 船 鑑 札 願 可 許 可 事

第 四 十 七 條 牛 馬 賣 買 營 業 願 可 批 可 事

第 四 十 八 條 官 有 ノ 河 川 池 沼 生 魚 鱉 并 水 草 蓮 根 類 拵 下 ノ 事

第 四 十 九 條 官 有 地 生 ス ル 樞 実 又 ハ 茶 桑 葉 ノ 類 拵 下 ノ 事

但 官 林 生 ス ル モ ハ 此 限 コ ア ラ ス 第 五 十 條 北 海 道 産 物 積 載 ノ 船 船 本 縣 下 諸 港 へ 入 リ 納 税 請 フ モ ノ 取 扱 フ 事

第 五 十 一 條 印 紙 野 紙 ノ 賣 捌 人 可 批 可 事

シ 及 ヒ 現 紙 例 規 據 リ 下 付 ス ル 事

第 五 十 二 條 酒 造 願 可 批 可 ス ル 事

第 五 十 三 條 替 契 營 業 願 可 批 可 ス ル 事

第 五 十 四 條 官 地 拜 借 願 可 批 可 ス ル 事

但 山 野 及 附 寄 洲 ハ 此 限 コ ア ラ ス

第 五 十 五 條 河 港 道 路 堤 防 橋 梁 樋 類 ノ 修 築 ラ ナ ス 事

但 道 路 ノ 開 築 變 更 及 河 川 ノ 改 修 ハ 此 限 コ ア ラ ス

戶 長 役 場

四 百 四 拾 三 ヶ 所

縣 立 學 校

師範學校

地方税ヲ以テ維持ス

教員七人

生徒八拾四人

華浦醫學校

全前

教員五人

生徒四拾一人

公立中學校

有志者寄附金ノ利子ヲ以テ維持ス

山口中學校

教員九人

生徒六十一人

萩中學校

教員八人

生徒六拾人

岩國中學校

教員五人

生徒三拾六人

豊浦中學校

教員六人

生徒六拾八人

徳山中學校

教員五人

生徒七拾二人

公立小學校

八百七拾九ヶ所

縣會議員

五拾二名

官衙所在ノ地

山口始審裁判所	吉敷郡山口今道町
同 治安裁判所	山口始審裁判所構内
岩國治安裁判所	玖珂郡横山村
萩 治安裁判所	阿武郡江向村
赤間関治安裁判所	赤間関區赤間町
岩國電信分局	玖珂郡岩國町
三田尻電信分局	依波郡三田尻町
山口電信分局	吉敷郡上宇野今町
萩 電信分局	阿武郡萩東田町
赤間関電信分局	赤間関區外濱町
廣嶋鎮基多營	吉敷郡上宇野今町
農商務省山口山林事務所	同前

官林 但農商務省直轄

及別壹萬二百六十五町八及一畝九步

產物ノ品名及其產額并輸出ノ價額

普通產物

品名	產額	輸出價額
米	六九四、五二九 <small>斤</small>	二二三三、一七五 <small>円</small>
糯米	四五、〇一三	二一、三五四
麥	二六二、四一〇	二三九、七七八
粟	八、三九一	一五八
黍	三、一一二	
大豆	二五、〇二九	
小豆	七、五二四	
蕎麥	二二、九四四	

品名	産	額	輸出價額
寶綿	一三四二、五一六斤	一	五 <small>円</small>
生糸	二、〇二六	四三	
蚕繭	一、〇七六	三二五	
真綿	五八五	四五	
屑糸	三八八	八八	
玉糸	一三三	三	
總糸	一三三、四八 <small>總</small>	三	一、九〇四
慰糸	一九斤	六	
麻	三三九、九三四	三五	
楮皮	二六八〇、三五四		五五八 <small>二七</small>
藍葉	五三七、六一五斤	二五	
玉露	三、二二三		

裨	三、九九三	九七一	
蜀黍	七一九	三〇〇	
玉蜀黍	八、七〇五斤	二	
甘薯	二三〇六、七六七		
馬鈴薯	二六、五七五		
黑豆	五〇七 <small>斤</small>	〇二三	
蠶豆	一、九二六	八八二	三、四〇五 <small>円</small>
豌豆	三、七一八	六一三	
大角豆	一、七五九	四二九	
隱元豆	七〇	四二六	
綠豆	二二〇	九七	
里芋	四九、八二〇斤		
特有産物			

煎茶	九六、六九七	
釜煎	八九、三七一	
刻烟章	一六二、八一三	
葉烟章	一〇七、三三九	四二
生蠟	四〇六、九五二	
檀実	一三七三、〇五六	〇一
椎首	二、七〇〇	
石炭	一五〇、三九〇、九〇〇	
石灰	二五四〇、五七八	
茶種	三〇、一六〇	八五
胡椒	二二二	二一八
食塩	六二二、九七〇	六三六
半紙	一〇〇、九二三	三
		一六、六一一
		二六、三二〇
		一八、九三四
		三八
		八二、三四三
		二〇二
		二七五、七九五
		四六八
		八四、二六七
		四三

小半紙	一〇〇	
半切紙	一〇、三六二	
仙過紙	三一七	五
白水綿	四八三、七六一	及
綿水綿	四九三、四九四	
菊弱玉	四三三、六五九	
于温飩	三五、三三五	
亭苧	一一四、〇四一	五
切昆布	六五、三四四	七五
干和布	一一一、〇一四	七五
前海産	九、四六一	二五
鯨	五〇、一二七	六
鮫斗	二	五
		一六、五
		一六、五
		八四六
		五八五四
		二二七
		四六七
		二〇
		一六、五
		一〇五、四五四
		六五七
		一四、〇七
		二九
		六、四七八
		二五

鯨	八六九五	
鯨斗		
鹽鯖	四〇六、五六三	七、四〇三
煎鰯	四六〇、四六五	二六、二六〇
干鰯	四二四、六七五	
乾蝦	四、六二五	一、二八
塩蝦	三〇、二五三	六、二四
塩鯨	六、四〇八	
干鳥賊	六、九四九	
干鮫	六、六〇四	
乾馬刀	一五、〇〇〇	
管内開墾總及別	明治十三年以來五年迄	
管内荒地起返總及別	全前	
管内開墾總及別	十八百三十二町九及五畝二十四步〇七毛	

三拾町九及三畝二十三歩六厘  
 管内荒廢地總及別 全前  
 四千八百二十五町三及四畝拾八歩五厘  
 牧場ノ箇所種頭數  
 貳ヶ所

長門國阿武郡椿郷東乡村  
 牝牛 九頭

同國美祿郡繪堂村

牝牛 六十四頭 内一頭洋種

牝牛 七頭 内二頭洋種

管内牛馬頭數

牛 六萬七千六百七十六頭

馬 貳万三千九百八十八頭

船舶ノ數

千二百拾九艘

内

蒸氣船

壹艘

風帆船

八艘

日本形船

五拾石以上  
千貳百拾艘

銀行

三國立銀行

百拾國立銀行

士族

戶數 壹萬六千二百五拾九戶

人口 七万六千七百七人

神社

寺院

貳千六百五十貳ヶ社

遙拜所

千六百五十四ヶ寺

説教所

六十九ヶ所

教道寺職

百四十七ヶ所

内

試補

千二百三十八人

水害アル箇所  
一 樵野川沿岸ノ村落



園穀高

一厚	東川沿岸、村落	同郡	陶村	同郡	鑄錢司村
一厚	狹川沿岸、村落	同郡	吉見村	同郡	嘉川村
一厚	狹川沿岸、村落	同郡	厚狹郡村	同郡	厚狹村
一嶋	田川沿岸、村落	同郡	熊毛郡小周防村	同郡	嵩田村
		同郡	浅江村		

米	壹万六千七百三拾石貳斗九升一合二勺
粃	壹万七百七十壹石壹斗貳升一合八勺七勺
麥	七百七十九石貳斗壹升五合一勺
海草	三千七百四十九貫七百拾三匁
豆	五石壹斗
蕎麥	二十三石壹斗
稗	四十二石五斗

米價

平均	壹石ノ相場
上米	金六円壹錢五厘
下米	金五円七十六錢七厘

麥價

平均壹石ノ相場

上表 金二円九十七銭五厘  
下表 金二円三十五銭四厘

救助ヲ受クル貧民

三百三十名入

遊藝入

千二百八人

巡察個所

周防國

玖珂郡横山村

七月五日

岩國治安裁判所

所長判事補冷泉豊亮不在ニ付代理判

事補芦ヶ原義一本年一月ヨリ六月ニ

至ル民事百六十八件刑事二百三十一

件勧解千二十八件昨十五年一月ヨリ

六月ニ至ル民事百三十件刑事二百二

十二件勧解七百七十二件ナリ

同郡岩國町

同日

玖珂郡役所

郡長阪本協書記十九人郡内戸數二万

九千八百四十六戸人口十三万九千三百八十九人地稅六万二千四百八十四十三錢六厘

同日 岩國警察署

署長警部莊正衛外ニ警部一人補二人  
巡查八十三人分署七ヶ所本年一月ヨ  
リ六月ニ至ル重罪七人輕罪三百九十  
三人違警罪百三十五人密賣淫三人昨  
十五年重罪二十二入輕罪六百十五人  
違警罪四百二十九人密賣淫九人

同日 義濟堂

社長三須成懋此社ハ明治六年十二月  
ノ創設ニシテ當初義成堂ト稱シ同八  
年六月之ヲ改メテ義濟堂ト為ス是即  
チ士族授産ノ為ニ設ル所ニシテ各  
所ニ諸工場ヲ建テ頗盛大ナリ資本金  
ハ十五万円餘ニシテ專ラ舊藩主吉川  
氏ノ補助ニ係ル目今ハ利益ヲ見ルニ  
至ラスト雖モ得失相償フト云

同郡錦見村

同月六日 錦見小學校

教員三十人生徒現員千〇四十五人外  
ニ横山分校教員三人生徒八十人小西  
分校教員三人生徒百十六人扇町分校

教員三人生徒百三十二人甚々盛大ニ  
シテ生徒モ亦自ラ活潑ノ氣象ヲ有セ  
ルカ如シ

同校内

同日 第二保全社

是防長ニ養蠶製糸ヲ盛ナラシメント  
士族有志者ノ結社スルモノニシテ第  
一保全社ハ萩ニアリ此地ニ設クルモ  
ハ第二トス女授業人一人人工女三十  
六人アリ

同郡横山村

同日 岩國中學校

二等助教諭兼校長心得塩谷處明治十

三年八月ノ創立ニシテ教員五人生徒  
現員三十六人ナリ

同

岩國監獄支署

看守長心得看守戸田龍太郎現今在監  
ノ現囚二十六人内輕禁錮一人拘留十  
四人留置十一人

同郡由宇村

同日 由東小學校

本校ハ明治六年四月ノ建設ナリ教員  
三人生徒現員二百六人

大島郡東屋代村

同日 大島郡役所

郡長田邊淳藏書記十三人郡内戸數一  
万五千〇〇七戸人口六万九千五百三  
十四人地租金一万五千七百八円二十  
五錢壹厘

同郡小松開作村

同日 開作小學校

本校、明治六年ノ建設ニ係ル教員助  
手共六人在籍生徒百九十九人當日出  
席生徒百四十二人ナリ

熊毛郡室津村

同月八日 柳浦小學校

教員授業生共三人生徒現員二百六十  
五人外ニ志田分校教員一人生徒現員

二十五人

同郡上関浦

同日 竈關小學校

教員四人生徒現員二百一十一人外ニ戸  
津分校教員一人生徒三十二人四代分  
校教員助手共三人生徒六十九人蒲井  
分校教員一人生徒三十人八島分校教  
員一人生徒五十二人

同郡室積村

同日 熊毛郡役所

郡長川上清流書記十四人郡内戸數一  
万八千七百八十二戸人口八万六千六  
百十二人地租金四万七千八百六十四  
七

十五錢二厘

同郡田島村

同月九日 大成小學校

教員三人生徒現員百九人

同郡淺江村

同日 淺江小學校

教員五人生徒現員百五十八人

都濃郡末武下村

同日 公集小學校

教員六人生徒現員百九十九人

同郡柳ヶ濱村

同日 華西小學校

教員四人生徒現員百六十人

同郡徳山櫻馬場

同日 郡役所

郡長兼常弘介書記十八人郡内戸數一

万九千百三十九戸人口八万六千九百

五十八人地税金四万四千八百三十九

円七十九錢五厘

同

同日 岐陽小學校

教員十二人生徒現員四百二十三人授

業整肅ニシテ自カラ精神アリ岩國錦

見小學校ト肩ヲ比スルニ至ラン

同

同日 集榮小學校

教員八人生徒現員三百三十七人

同

同日

徳山中學校

校長心得岩等蕃郁明治十三年ノ創立  
シテ昨十五年十月新築教員五人生

徒現員八十一人生徒ノ學力何レモ進  
歩セルカ如シ都濃郡書記兼本校三等

助教諭河村幸佐ナルモノ藩士他ノ小  
=熱心シ獨リ此校ノミナラス他ノ小

學校ニモ大ニ力ヲ盡スト云  
新道巡視

同日  
都濃郡夜市村ヨリ戸田村ニ至ル凡二  
十丁程ノ新道ハ從來ノ峻坂ヲ避ケ山

麓ヲ回リテ改修ス昨今既ニ功ヲ竣ノ  
其新道太々平坦ニシテ將來運輸ノ便  
利必ナカラサルヘシ

同郡福川驛

同日

福川小學校

教員九人生徒現員四百十五人  
佐波郡富海村

同日

富海小學校

教員七人生徒現員三百一人教員何レ  
モ活潑ニシテ生徒モ亦活潑ナリ此學  
校ニ付同地主族入江石泉ノ盡力最多  
シト云

同郡江泊村

同日 陶器製造所  
社長河野平七 近來大坂造幣局用ノ硫  
酸容器ヲ製シ且其他ノ陶器ヲ製スル  
力故ニ工業忙ハシ此工業ノ繁盛ニ趣  
キシモ亦入江石泉大ニ與テ力アリト  
云

同郡宮市町

同月十日 松崎小學校

教員八人生徒現員三百六十七人

同

同日 周陽學舎

主事岡村彦兵衛外二人該校ハ明治十  
年三月開校教員七人生徒現員百三十

一人内入舎生三十一人本校ハ佐波郡  
南部士族ノ協同以テ創立スルモノニ  
シテ普通中學科ヲ授クル所ナリ

同郡三田尻町

同月十一日

佐波郡役所

郡長都野巽書記十九人郡内戸數一万  
六千四百五十三戸人口七万二千八百  
三十八人地租金五万五千四百二十四  
十六錢五厘

同

同日 華浦小學校

明治六年一月ノ設立ニシテ現今教員  
十五人生徒四百四十六人



同日 華浦醫學校

二等教諭秋本好謙該校ハ毛利家藩政ノ時天保十一年八月長門國萩八丁ニ於テ創テ醫學所ヲ置キ後好生館ト稱シ十數年後之ヲ明倫館内ニ移シ好生堂ト改稱ス尋テ同所新堀ニ新築ス慶應元年四月周防國山口金古曾ニ移シ山口好生堂ト稱ス傍ラ軍事病院ヲ設ケ明治元年同所西門前ニ移シ醫院ト改稱ス同六年九月官費ノ支給ヲ廢シ公費ヲ以テ之ニ代フ同七年四月之ヲ現在ノ所ニ移シ傍ラ病院ヲ設ケ華

浦醫院華浦病院ト稱ス其後醫院ヲ改メテ醫學校ト稱ス同十年七月縣費節減ノ際醫學校病院ヲ併セ廢ス先校長福田正二私校トシテ之ヲ維持ス同十三年十月又縣立ニ復シ山口縣醫學校ト稱シ同十四年十月更ニ山口縣華浦醫學校ト改稱ス現今教員五人生徒四十人内寄宿生三十二人通學生八人

同日 三田尻工業場

專任河野通彦該場ハ山口就産所ノ管轄ニシテ明治十四年四月蒲團製造ヲ以テ創業同十五年大和傳織機ヲ以テ

織紺綿水綿組織ヲ為ス資本金五千五百円職長二人教授一人工男四人工女三十一人

同濱

同日

三田尻塩田大會所

總頭取山根健索該所ハ塩戸者互撰ノ議員ヲ會同シ既往ノ大會所規則ヲ修正シ益々其約束ヲ堅牢ナラシメ一層高路ヲ擴充シ製塩ノ統計ヲ詳ニシ改良進取ノ點ニ到達セシ為メ設立セル所ナリ現今塩田売枚(売枚ハ売丁五反)ノ賣買上等ハ三千円下等ハ三百円内外塩田ニ附屬スル宅地ハ六畝故ニシ

テ地價ハ十三円五十錢ノ定規ナリ日雇料男ハ二十錢ヨリ三十錢迄女ハ四錢位目下塩百石ニ付八十八円ノ相場ナリト云

同郡勝坂

同月十二日

勝坂工業場

委員松尾守一植峠頼亮該場ハ本年五月開業ニシテ水車ヲ以テ綿糸ヲ紡績スル所ナリ授業者二人工男一人工女六人ニシテ山口就産所ノ管轄タリ吉敷郡山口

同日

山口警察署

署長警部古川龍藏分署八本年一月ヨ

六月マテ犯罪ノ數七百十件昨十五年犯罪ノ數千五百二十五件

同

同月十三日

山口縣栽培試驗場

勸業課ノ所轄ニシテ各種ノ草木ヲ栽培シ洋牛五六頭ヲ牧ス傍ラ農談會ヲ開キ農學者高岡直三ナルモノヲシテ之ヲ擔任セシム

同場構内

同日

山口縣物産陳列場

勸業課ノ所轄ニテ管内ニ於テ産出スル所ノ物品ヲ陳列ス

同

同日

吉敷郡役所

郡長高洲素介書記十八人郡内戸數一萬九千七百十九戸人口八万七千六百十七人地租金八万九千六十三円七十五錢一厘

同

同日

師範學校

校長心得上司淵藏該校ハ明治七年十月ヲ以テ創設シ山口縣教員養成所ト稱ス同十年一月師範學校ト改稱ス現今教員九人生徒八十三人ナリ附屬小學教員四人同生徒現員百二十五人

同日 中學 校

校長心得山中函三該校ハ元鴻城學舎  
ト稱シ舊藩主毛利元徳ノ私立ニ係ル  
明治三四年ノ頃山口萩兩明倫館内  
ル文學寮算學寮ヲ合併シテ中學ト改  
メ管内ヲ四中學區ニ分劃シ山口萩ノ  
兩所ニ於テ中學生徒ヲ陶冶セリ同六  
年五月兩學校ヲ改メテ變則小學ト稱  
ス七年八月之ヲ廢ス同年十二月舊藩  
主縣下中學子弟ノ為メ金二万四千三百  
餘円ヲ出シ之ニ有志者ノ寄附金四百  
餘円ヲ加ヘ以テ山口萩ニ上等小學ヲ

設ケ萩ニアルヲ巴城學舎山口ニアル  
ヲ鴻城學舎ト稱シ本校ノ管理ヲ縣廳  
ニ委託ス同八年其委託ヲ止メ單ニ毛  
利家ノ私立トシ同十一年五月鴻城學  
舎ノ稱ヲ廢シ山口中學ト改稱シ巴城  
學舎ヲ中學萩分校ト改稱ス隨テ定額  
ニ差ヲ立テ三分ノ二ヲ本校ニ三分ノ  
一ヲ萩分校ニ給付ス同十三年六月毛  
利元徳學資金三万三千百五十六円餘  
ヲ舉テ縣廳ニ寄附ス因テ私立ヲ改メ  
テ縣立ト為ス十三年度ニ於テハ尚ホ  
毛利元徳毛利元敏吉川経健毛利元功  
等ノ諸氏及ヒ豊浦學舎協同會社其他

諸官員郡區有志等ヨリ中學費トシテ  
巨額ノ寄附金アリ且地方税ヨリ幾分  
ノ補助ヲ得テ中學ノ基礎初メテ確立  
セリ現今教員十一人生徒現員六十三  
人

同中河原町

同月十四日

山口縣監獄本署

副典獄桂秋一現今在檻ノ囚千〇〇五  
人内已決囚七百九十三人未決囚百八  
十七人別房留置二十五人尋常病百四  
十四人腸窒扶斯病十四人アリ

同大殿大路

同日

大殿小學校

教員七人生徒現員二百三十九人  
同上宇野令村

同日

小楯小學校

教員四人生徒現員百四十八人本校經  
費三百九十六円餘此校ハ維持法ノ困  
難ナルヲ以テ興廢常ナラスト雖モ現  
時師範學校長上司淵藏ナルモノ談學  
區ノ學務委員ヲ兼ネ及授業生三川央  
ナル老人アリ兩人ノ盡力ニテ之ヲ維  
持セリ然ルニ又議論紛起シテ本校ヲ  
大殿小學校ニ合併シ大殿小學校ノ分  
校ト為ス一ニ決シタリト云  
同今道町

同日 今道 小學校

明治五年十一月舊藩主ヨリ附與セル  
所ノ客館ニ開設ス教員八人外裁縫教  
師一人生徒現員二百八十三人

同日

同日 山口 始審裁判所

所長判事古莊一雄外ニ奏任判事二人  
補七人檢事本多正知補三人本年一月  
ヨリ六月迄民事四百十四件刑事九百  
十一件昨十五年申民事四百七十九件  
刑事千七百七十七件

同日

同日 山口 治安裁判所

所長判事補鈴木圓平外ニ補二人本年  
一月ヨリ六月ニ至ル民事二百八十件  
勸解千八百件昨十五年中民事四百七  
十件勸解二千六百七十九件

同上宇野令村

同日 山口 山林事務所

所長心得農商務七等属橋本富徳外ニ  
判任官三人防長ニケ國ノ官林ヲ管ス  
其箇所二百二十此反別一万二百六十  
五丁餘内一等官林ノケ所五十七二等  
官林ノケ所三十二禁伐官林ノケ所百  
三十員外官林ノケ所一ニシテ現時苗  
圃ニ播種ノ苗木ハ二十六万五千本餘既

各官林、新植セシ分ハ三十万千本  
餘ナリ

同

同月十六日 山口 就産所

明治九年ノ創業ニシテ頭取兼重淳輔  
本縣士族ノ共有金二十五万九千円餘  
ヲ資本トシ此利子金ハ諸費ヲ引去リ  
其餘ヲ三分シテ一分ヲ備荒儲蓄ニ充  
テ其二ヲ士族生産費トシ戸數ヲ算シ  
テ毎年各郡區ニ分割シ其地方ニ於テ  
産業ヲ營ム方法ナリシカ今年ヨリ右  
分割ヲ廢シ本所ニ於テ直轄ニ士族ノ  
産業ヲ起シ及ヒ餓死ニ迫ルモノヲ救

助セント目今其方法計畫中ナリト云  
又附屬資本金六万六千円餘ヲ以テ盡  
ク工業費ニ充テ二万百円ヲ直轄工業  
場ニ設ケタル資本トナシ其餘ハ士族各  
自ニ設ケタル工業所ニテ所ノ補助  
費トス而シテ其工業ノ種類ハ水綿織  
物紡績傘陶器木具等ナリ之ニ使用ス  
ルモノ男三百四十九人女千百三十六  
人合計千四百八十五人ナリ

同

同日 協同會社

明治九年ノ創業ニシテ社長松田敏樹  
此社ノ資本ハ長防兩國ノ人民共有金

二十五万四圍穀五万石トス(舊藩中郡  
村成立ノ為メニ貯蓄シタル金穀ニシ  
テ即チ二州人民ノ共有)圍穀五万石ハ  
明治十年各町村浦島ニ分割シテ之ヲ  
貯穀セシム且資本金ヨリ生スル殖益  
金ハ本年ヨリ年々關係ノ各町村ニ分  
附ス

同郡矢原村

同月十七日

高田小學校

明治六年五月ノ設立ニシテ現今教員  
六人生徒百七十七人

同郡上郷村

同日

上郷小學校

教員七人生徒現員百七十七人

同郡嘉川村

同月二十九日

嘉川小學校

明治六年一月ノ設立ニ係ル教員助手  
共十一人生徒現員二百一人

同郡小郡驛

同日

榎野小學校

該校設立ノ年月ハ右同断教員十人生  
徒現員三百二十一人

同郡鑄錢司村

同日

樹藝場

所有主松永周南元村醫ニシテ樹藝ノ  
道ニ志篤ク今ヲ去ル三十二年即嘉永



六年毛利家藩政ノ時陶ヶ嶽ノ東南ニ  
接續シタル兀山ノ半腹ヨリ以下沙漠  
ノ地ハ丁歩ヲ當時ノ價三貫二百匁ニ  
テ買得シ此土沙漠ニ氣道流通中空氣ム  
道水脈流通スル水氣ヲ方法ヲ施シ或  
ハ樹藝圃ト為シ或ハ水田ト為シ草木  
ヲ培養シ旁土砂ヲ扞止ス草木ハ逐次  
ニ繁茂シ沙漠ハ變シテ良田トナル此  
兀山ノ下ナル各村昔時ハ強雨等ニ際  
シテハ家屋及ヒ耕地ノ流亡スルヲ  
ルヲ以テ一反歩ノ耕地僅カニ五十錢  
内外ノ値ナリシカ今日ニ至リテハ其  
妨害ナキヲ以テ殆ト二百四餘ノ賣買

ニ及ヘリト云周南曰ク氣道水脈ヲ以  
テ草木ヲ蕃殖セシムルノ發明ハ必壯  
ノ時醫術ヲ學ハント諸國ヲ遊歴ス相  
刈鎌倉ニ於テ耕地ノ一方ナル石垣ヲ  
改修スルモノアリ其破壊セサルヲ改  
修スル所以ヲ問フ土人答曰ク之ヲ改  
修スレハ土揺イテ收穫ノ所得大ニ増  
加スト茲ニ於テ氣道水脈ヲ發明シタ  
リ此樹藝場林園田畠ノ別ナク皆地中  
縦横ニ穴ヲ設ク是即チ氣道水脈ナリ  
ト又曰ク昔時沙漠ニ於テ此ノ如ク草  
木ヲ繁茂セシムルハ後人或ハ信セサ  
ルヲ恐ル故ニ裁ル所ノ樹三百餘種盡

異種松ハ重班葉ノ類ハ五葉ナリト其氣  
 道水脈ノ上ニ當ルモハ生長最盛レ  
 長大ナリ周南齡己ニ六十八身儂ヲ病  
 隆然伏行柳子厚カ所謂郭橐馳ニ類  
 スル者ナリ然而其種樹ノ法ハ氣道ヲ  
 通シ水脈ヲ疏シ土地ノ氣ヲ開新ス又  
 郭橐馳カ土ハ故ヲ欲シ去テ顧リニス  
 置テ棄テタル如キニハ非サルナリ  
 佐波郡堀村

同月三十日 出雲合小學校  
 該校明治七年五月ノ建設ニ係ル教員  
 六人生徒現員百三十四人

長門國

美禰郡大田村

七月十七日 大田小學校

該校ハ元舊藩中ノ郷賢温故堂ト稱セ  
 シモノニシテ後小學校トナル教員裁  
 縫教師共七人生徒現員百六十六人校  
 舎ノ構造授業ノ方法共ニ宜シカラス  
 同

同日 美禰郡役所

郡長坪井宗一書記二十人郡内戸數七  
 千十戸人口三万三千七百六十九人地  
 租金三万四千八百四十六月十七錢六  
 厘

同郡繪堂村

桂陽小學校

同月十八日  
明治十三年十月、建築ニ係ル教員二  
人生徒現員八十六人同村字小野一ツ  
橋支校教員一人生徒十九人

阿武郡明木村

鷺鳴小學校

同日  
明治十二年五月建築教員四人生徒現  
員百一人

同

鹿脊ヶ坂隧道

同日  
小郡ヨリ萩ニ達スル路線中ノ難所ナ  
リ目今施工中ナリ

同郡萩江向

萩中學校

同月十九日  
該校ハ舊藩學明倫館ノ遺跡ニシテ其  
後舊藩主ノ私學ニ係ル其來歴ハ山口  
中學ノ所ニ記スルヲ以テ茲ニハ之ヲ  
畧ス校長ハ中村雪樹教員八人生徒五  
十四人萎藜振ハサル景况ナリ

同新堀

萩治安裁判所

同日  
所長判事補原田豊外ニ補一人本年一  
月ヨリ六月ニ至ル刑事百八十四件昨  
十五年一月ヨリ六月ニ至ル同百二十  
四件本年一月ヨリ六月ニ至ル民事三

百四十六件昨十五年一月ヨリ六月ニ  
至ル同二百四十二件本年一月ヨリ六  
月ニ至ル勸解二千百十五件昨十五年  
一月ヨリ六月ニ至ル同千七百七十一  
件

同八丁

同日

見阿武郡役所

郡長口羽良介代理郡書記中山修三外  
ニ書記十八人管内戸數二万五千十七  
戸人口十一万三千八百八十四人内阿武郡  
戸數二万四千六百四十一戸人口十萬  
八千四百三十二人見島郡戸數三百七  
十六戸人口千九百五十一人兩郡地租

合シテ金五万七千七百九十六圓八十  
二錢二重

同橋本町

同日

萩警察署

署長警部神村龍三外警部二人補一人  
巡查八十五人分署五ヶ所本年一月ヨリ  
六月ニ至ル犯罪者二百五十人昨十  
五年犯罪者四百二十四人

同夷町

同日

萩監獄支署

看守長心得三島真極在檻、現囚十八  
人内未決六人已決一人留置十一人此  
檻獄小ナリト雖モ甚々清潔ナリ

同江向

山口縣士族就産所

同日

萩織工場

明治十六年一月開設就産所ヨリ士族  
婦女ニ綿木綿織ヲ教授スル所ニシ  
テ教師赤川ニテ當直婦人四人生徒四  
十七人機數二十五基一ヶ月織出ス一  
凡三百反資本金四千円就産所ヨリ支  
出ス

同

同日

嫩貞松舎

明治三年九月開設赤川任母ニテ私  
立ニシテ綿木綿飛白ヲ織ル所ナリ教

師ハ同人勤之助教婦人一人世話掛リ  
婦人三人女生徒八十五人機數四十基  
一ヶ月織出ス一二百五十反ナリ

同唐樋町

山口縣士族就産所

同日

萩工業場

明治十五年一月士族就産所ヨリ開設  
ス木綿紡績場ナリ粗製ノ人力器械紡  
錘百本立四挺六十本立二挺工男女合  
シテ十九人一日製出糸凡一貫目資本  
金三千円就産所ヨリ支出不教員ハ周  
防勝坂ハ引上テ當直婦人三人ニテ勤

同川島村

同日

製糸場

頭取内藤左平是亦士族、私立ナリ内ニ養蠶場アリ器械ハ六馬力五十人取ニシテ未タ本業ニ取り掛ラズ巡察、日初テ運轉ス資本ハ就産所ヨリ三千円ヲ借請ケ餘ハ株主ヲ募リ費用ヲ支辨スト云

同堀内村

同月二十日

第一保全社桑園

社長根來親祐桑園地三町七反八畝餘桑樹七千五百本此桑園ハ士族就産ノ為メニ設ケタルモノニシテ社長始メ

大ニ盡カシ蕃殖ノ勢アリ

同

同日

堀内小学校

教員助手共八人生徒現員九十人此校ハ明治六年一月ノ設立ニ係ル

同濱寄町

同日

濱崎小学校

教員助手共八人生徒現員二百四十七人此校設立ノ年前ニ同シ

同五間町

同日

北斗小学校

教員助手共十人生徒現員三百三十人此校ハ明治六年二月ノ設立ニシテ昨

十五年改築ス

同新堀

同日

新濠小學校

教員助手共十四人生徒現員三百八十九人此校明治五年十一月設立ナリ都テ萩地ノ小學ハ教員生徒ハ應分ニ勉強スト雖モ教授書宣シカラス校舍完カラス歎息ニ堪ヘサルナリ

同郡松本村

同日

尚象社陶器製造所

明治十三年ノ開業ニシテ士族ノ營業ナリ頭取田中實昨年迄ハ一ヶ月三百円位賣捌ヲ為セシト雖モ本年ハ不景

氣ニヨリ賣捌高半額ヲ減スト云以シク退故ノ状アリ

同

同日

松下村塾

塾主杉民治現今生徒三十六人該塾ハ當初五木文之進ノ開設ニシテ其後吉田松陰之ヲ繼續シ杉民治又之ヲ継キ今日ニ至ル迄凡四十餘年ニ及リ漢學塾ナリ

同郡川上村

同月二十一日

龜瀨桑園

此園ハ士族中村正路ナルモノ所有ニシテ同人ハ年來養蠶ニ心ヲ用ヒ自

ラ荒蕪ノ地ヲ開拓シ反別既ニ三町七  
反歩ニ及ノ之ニ桑樹ヲ植ユル一  
八千本頗ル熱心家ナリ

同郡萩唐樋町

同日 巴城學校

幹事乃美宣該校ハ漢書英書算術體操  
ノ四科ヲ授ク漢學教師ハ益成時敏英  
學教師ハ中村源五郎ナリ體操ハ擊劍  
法ニシテ教師ハ二宮登人ナリ現今ノ  
生徒百六十五人明治十四年ノ設立ニ  
係ル校費一ヶ月百圓但就産所ヨリ配  
分スル利子ノ内ヨリ支出スルナリ

大津郡

同月二十二日 大津郡役所

郡長重富退三書記十九人郡内戸數八  
千四百九十六戸人口三万九千四百二  
十人地租金三萬三百九十六圓七十八  
錢七厘

厚狹郡船水驛

同月二十四日 厚狹郡役所

郡長渡邊渡書記十八人郡内戸數一万  
二千二百九十五戸人口五万八千九百  
五十一人地租金六万七千七百二十七  
圓十四錢四厘

同

同日 德基學舎



校長心得渡邊端該學舎ハ女生徒ヲ教授スル所ニシテ教員助手トモ七人生徒現員百五十三人校舎建築ハ明治六年ナリ生徒ヲ教ユル深切ナリ

同日 船木小學校

該校ハ男生徒、ミ、教授ス教員七人生徒現員百七十七人明治六年、建設ニ係ル

同郡厚狹村

同日 協興學舎

明治八年七月建設ニシテ粗中學ニ類ス教員三人生徒現員三十四人

同

同日 厚狹小學校

教員助手共六人生徒現員百三十四人

豐浦郡豐浦村

同月二十五日 豐浦中學校

書記兼校長心得熊谷俊一該校ハ明治十三年七月ノ建設ニシテ助教諭五人外授業生一人生徒現員六十八人

同

同日 新盛小學校

明治八年一月、建設ニシテ教員授業生共六人生徒現員百九十七人

同

同日

士族授産義社

總代豊永長吉外三人藁紙製造ニ從事スル者男女五十人製造高一ヶ年凡二千四百締竹器ニ從事スル者凡二百五十人一ヶ年製高凡代價九千四機織ニ從事スルモノ女子百五十人一ヶ年製造高凡九千及雜品ニ從事スル者凡百人一ヶ年製造代價凡三千六百四ナリト云

同

同日

豊浦郡役所

郡長井上貞亮書記十八人郡内戸數一万八千六百六十四戸人口八万四千四百

九十七人地租金六万八千四百七十五圓四十三錢八厘

同

同日

鷺橋小學校

明治七年二月、建設ニ係ル教員授業生共七人生徒現員百六十一人

豊浦村ヨリ檀ノ浦ニ至ル凡ソ一里餘ノ新道ヲ巡視ス偏ニ道路ノ平坦ヲ求ムル為メニ海濱ニ治フテ改修セリ前年外國ノ軍艦ト戦闘ノ時前田ノ砲臺ヨリ馬関本陣ニ通スル道路敵船ヨリ一目ニ見ユルヲ以テ敵ハ頻リニ之ニ

砲撃シテ遂ニ往來ヲ絶テ我兵殆ント  
困却セリ此路線ヲ改修セシモノハ之  
ヲ知ラサル乎將タ忘レタル乎古人言  
ハスヤ治ニ乱ヲ忘レスト獨リ此路線  
改修ノミナラス山陽山陰道路ノ改修  
海ニ沿フモノ多シ當局ノ者遠ク慮カ  
ラスンハアルヘカラス

同區東南部町

同月二十六日 赤間關區役所

區長吉田唯一書記十二人區内戸數八千  
三百二十一戸人口二万七千八百三十三  
人地租金五千九百七十一円五十錢六厘

同關後地村

同日 赤間關監獄支署

看守長心得今井義晃未決囚九十三人  
已決囚九人留置六十八人拘留二十五  
人合計百九十五人此内陽室扶斯病八  
人通常病十三人アリ該獄舎ハ狹隘ニ  
テ檻中餘地ナク充満ス目今同村内へ  
建築中ニテ不日此獄舎ヲ移轉セリト  
スルノ故ニヤ掃除届カス不潔ヲ極ム  
此日又新築ノ檻舎ヲ見ル

同東南部町

同日 赤間關警察署

署長心得警部掃部莊一外ニ警部二人  
補三人巡查百二十五人分署五ヶ所昨

十五年盜難届千三百十四捕賊二百三十人本年一月ヨリ四月迄盜難四百五十二人捕賊百四十三人

同

同日

赤間関治安裁判所

所長判事補山邊勇輔外ニ判事補一人本年一月ヨリ六月ニ至ル判事三百五十八件民事二百六十八件勸解千四十一件昨十五年刑事五百八十二件民事二百五十二件勸解千四百五十件

同區田中町

同日

菁莪小學校

該校ハ本年四月、建築ニ係ル教員授

業生共十二人生徒現員三百六十四人

同區阿弥陀寺町

同日

養治小學校

明治六年ノ建設ニ係ル教員授業生共十一人生徒現員三百二十三人本年度校費八百七十五円

同區岬ノ町

同月二十七日

玉江小學校

該校ハ假リニ町家ヲ借テ教場ト為ス其場所甚々狹隘ニシテ生徒ヲ坐セシメ業ヲ授クル教場アリ故ニ同町字五地山ト云フ丘上ニ於テ凡ソ五六百人ノ生徒ヲ入ルハキ新築ヲ為セリ目下

粗落成、其構造最モ宜シキヲ得タリ  
現今教員授業生共十二人生徒三百十  
九人本年校費八百六十一圓餘

同區西ノ端町

同日 驛遞出張局

出張局長心得兼郵便局長心得驛遞六  
等屬中村旭該局ハ周防長門兩國ニ設  
置セル郵便局ヲ管ス其郵便局ノ數百  
十五内周防國ニ五十五局長門國ニ六  
十局アリ出張局ハ開設以來日猶淺キ  
ヲ以テ處務ノ順序未タ全ク整ハス

同區中ノ町

同日 下ノ関長崎税関出張所

大藏九等監吏中村泉造本年一月ヨリ  
六月マテ輸出物品ノ數三千二百十個  
此元價二万二千九百七十七圓餘輸入  
物品ノ數九百六十個此元價二万三百  
八十六圓餘且本年五月外國ニ直輸出  
玄米一万五千三百九十七石二斗此元  
價九万三千九百二十二圓九十二錢一  
月ヨリ六月マテ外國航行船此港碇泊  
數内國汽船五十七艘外國汽船一艘  
同區外濱町

同月二十八日 赤間関電信分局

局長工部八等屬小林道三郎昨年來ノ  
不景氣ニ從テ電信收入金全國ニ於テ

大ニ減少スト雖モ本局ノ如キハ新田  
獲ノ色ヲ頭ハシ本年五月ノ收入金一  
千三百五十七円六月ハ一千七百八十  
円餘ニ及フト云

厚狹郡西須惠村小野田

同日 セメント製造所

社長笠井順八築造及器械拵付粗落成  
ス舊山口藩士族百四十八人結社シテ  
之カ株主トナル但一株金五十円トス  
資本金凡六万円内二万五千円ハ明治  
十三年ヨリ十八年六月マテ無利据置  
同年七月ヨリ往十五年々年賦四朱利付  
ニテ農商務省ヨリ拜借

同郡有帆村

同日 石炭坑

借區人西須惠村福井作藏外六人石炭  
坑七ツアリ此土地ヨリ出ル者ハ極上  
等ノ石炭至テ以テ然ルニ七坑ノ一  
坑ハ粗上等ノ品ヲ産出ス總坑ヨリ一  
日ノ産出高六千四百貫目即今坑夫平  
均三十人一日ノ賃錢ハ二十錢ヨリ二  
十五錢ヲ支給スト云ヘリ